

令和3年10月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和3年10月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市では、ふるさと寄附金の返礼品として、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」が提供するサービスである電子感謝券を導入し、10月14日から八戸都市圏交流プラザ「8base」での取り扱いを開始します。

電子感謝券は、自治体が定めた加盟店での買い物や食事などに利用できる地域限定の電子ポイントで、八戸市へのふるさと寄附金の返礼品として電子感謝券を選択すると、寄附の決済と同時に寄附金額の30%のポイントがお手持ちのスマートフォンやタブレットの電子感謝券アプリを通じて付与され、1ポイント=1円として利用することができます。

8base店内での飲食や地場産品の購入にこの電子ポイントをご利用いただけますので、八戸市へのふるさと納税をお考えの方は、ぜひご活用ください。

◆電子感謝券 <https://bit.ly/3lhbe4d>

◆ふるさとチョイス <https://bit.ly/3F13lm2>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

【行政】

記事	概要
(1)	<p>新型コロナ抑制へ 青森県緊急対策実施 八戸市中心街は時短営業</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた青森県の緊急対策期間が9月1日、始まった。9月30日までの間、多くの人々が利用する公共施設は原則休館や使用中止となり、学校活動も一部制限。また、民間にもイベントの中止や延期を含めた対応を求め、八戸市中心街では9月12日までの期間で、酒類を提供する飲食店の午後8時までの時短営業がスタートした。時短営業期間中、市は職員による見回り活動を実施し、三日町や朔日町などの店舗の営業状況などを確認した。9月10日、県は、市や専門家の意見を踏まえ、飲食店に絡んだ感染拡大には歯止めがかかったと判断し、時短営業要請は予定どおり12日で終了。市は、時短に応じた飲食店に支給する協力金の申請受け付けを9月13日から開始した。</p>
(2)	<p>八戸市プレミアム商品券 利用開始</p> <p>新型コロナウイルスの経済対策として発行された八戸市プレミアム商品券の引き換えと利用が9月1日から始まった。商品券は、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の回復と市内の消費喚起を狙い、市や八戸商工会議所などで組織する実行委員会が発行。八戸市民を対象に1万3千円分（千円券13枚つづり）を1万円で販売した。8万セットを用意したが、発行部数以上の申し込み（約3万人から約12万5千セット分）があったため、コンピューターによる無作為抽出を実施し、申込者全員に最低1セットは当たるようにした。飲食店やスーパーなどの小売店を中心に1095店舗で利用可能。</p>
(3)	<p>八戸市総合保健センター 認知症啓発へライトアップ</p> <p>9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、八戸市総合保健センターが、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップされた。世界アルツハイマー月間と、世界アルツハイマーデー（9月21日）は、国際アルツハイマー病協会が定めた啓発期間。新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動は縮小傾向だが、「認知症の人と家族の会」が、全国各地で講演会やパンフレット配布などの啓発活動に取り組んでいる。ライトアップは全国71カ所で実施され、同センターをオレンジ色にライトアップしたのは初めて。9月いっぱい実施し、認知症への理解を呼び掛けた。</p>
(4)	<p>八戸圏域のICカード「ハチカ」 機能追加、来年3月利用開始</p> <p>八戸市は9月21日、八戸圏域で八戸市営バスと南部バスが導入する地域連携ICカード「ハチカ」について、サービスの概要を明らかにした。ハチカは八戸圏域でのバス利用や定期券など地域独自のサービスに加え、Suica（スイカ）エリアの交通機関やコンビニなどで電子マネーとして使える機能を1枚に集約している。また、バス運賃として使用できる交通ポイントの付与や、2社共通1日乗車券（市内版800円、圏域版1600円）を新たに導入。通勤・通学定期券や高齢者等バス特別乗車証の機能もICカードへ移行する。ハチカは来年3月の利用開始を予定している。</p>
(5)	<p>八戸市 民間企業と連携しPCR検査センター開設へ</p> <p>八戸市の小林市長は、9月27日、民間企業と連携して市内の公共施設内に新型コロナウイルスのPCR検査センターを開設する考えを示した。センターでは検体採取から検査結果が判明するまで最短2日を想定しており、結果は個別にメールで通知する。運営は民間企業が行い、市は場所の提供や運営のサポートを担う。センターの詳細は検討段階としながらも「できるだけ早く開設できるよう努力したい」と述べた。手軽に検査が受けられる態勢を整えることで、市内の感染防止につなげる。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p>八戸港 トロール漁始まる スルメイカ水揚げ、113トン販売</p> <p>八戸港拠点の中型底引き網（トロール）船が9月1日、八戸沖や三沢沖などで今季の漁を始め、11隻がスルメイカを水揚げし、約113トン販売した。8月に起きた貨物船座礁事故で流出した重油が及ばない海域が漁場となっており、油の影響はないという。魚体は200～250グラムが主体で、この時期としては良好。木箱15キロ入りは1万2600～9300円で取引され、高値は昨年の初水揚げの9700円を上回った。トロールのスルメイカは大半が加工原料として使われる。漁期は9月～翌年6月末で、12月ごろまでは主にスルメイカを狙う。</p>
(7)	<p>ライトカフェ（東京） 八戸にオフィス シルバー人材のやりがいや雇用創出</p> <p>ウェブサイトやシステムの構築などIT事業を手掛けるライトカフェ（東京）が八戸市に開設しているサテライトオフィスでは、市シルバー人材センターから派遣された60～70代の高齢者12人が、AI（人工知能）の開発に携わっている。同社では、少子高齢化に伴う人手不足で首都圏での人材確保が困難となっていることを背景に、地方での雇用創出と人材育成に重点を置いてきており、同市出身の社員が帰郷することとなったのを契機に、2019年に同市でサテライトオフィスを開設。市シルバー人材センターに協力を依頼し、2020年3月から業務をスタートした。パソコン操作を難しくこなし、仕事に真摯に取り組む姿を目の当たりにし、今後は高齢者の雇用を一層増やしていきたい考えだ。</p>
(8)	<p>小清水さん（八戸） 地場産品販促へ起業 中小企業などの海外展開後押し</p> <p>地場産品の海外向け販売促進などに携わってきた八戸市の小清水貴子さんが、企業の輸出支援などを手掛ける「ロコラボ」を立ち上げた。小清水さんは市内の商社や、日本貿易振興機構（ジェトロ）が設置した「日本食品海外プロモーションセンター」での勤務経験があり、培った経験や人脈を生かして事業者を後押ししたいとの思いで起業した。企画立案から貿易実務、プロモーションまで、青森県内を中心とした中小企業や個人の海外展開を一貫してサポートする。商品は日本酒や菓子類、果物、水産加工品といった食品や工芸品など多岐にわたり、少数の生産規模でも支援可能で、自社で仕入れをして輸出版売も行っている。</p>
(9)	<p>南部せんべいをラスクに 上館せんべい店など4者開発、販売</p> <p>八戸市田面木の上館せんべい店や同市の菓子卸売業「鈴菓」など4者は、幅広い世代に南部せんべいに親しんでもらおうと南部せんべいをアレンジした「せんべいらスク」を開発し、市内などで販売を始めた。ごませんべいは上館せんべい店（田面木）、豆せんべいは上館せんべい店（鍛冶町）が焼いたものを使用し、六戸町の製菓業「小向製菓」がラスクに仕上げた。砂糖をまぶし、サクサクの食感が特長で、5枚入りで378円（税込み）。</p>
(10)	<p>日本海操業の中型イカ釣り船 船凍スルメイカ初水揚げ</p> <p>日本海で操業中の中型イカ釣り船2隻が漁獲した船凍スルメイカ134トンが9月17日、八戸港に今季初水揚げされた。水揚げしたのは岩手県大槌漁港所属の第81明神丸（184トン）と八戸港所属の第58昌運丸（177トン）。水揚げは計1万6863ケースで、入札の結果、バラ凍結で1ケース（8キロ）6千～4800円、ブロック凍結で1ケース5600～4750円で取引された。1匹200グラム前後の41～45匹入りを中心に、品薄な小ぶりのサイズに高値が付いた。市場関係者は「コロナ禍で全国的に抑え気味の中、まずまずの値段」と指摘した。</p>

(11)	<p>八戸の若手生産者がプロジェクト 夏ニンジン産地化に挑む</p> <p>八戸市南郷地区で、化学肥料や除草剤などを使用しない、有機による夏ニンジンの栽培プロジェクトが進んでいる。プロジェクトを立ち上げたのは、移住やUターンを機に就農した地元の若手生産者らで構成する「有機夏人参生産組合」。有機による夏ニンジンは、全国的な健康食ブームによる需要が伸びているが、栽培が難しく供給が追いついていないことから、地域ぐるみでの生産拡大を目指し、昨年12月に生産組合を設立した。今年は5月から実証栽培を開始し、9月15日に初の収穫を迎え、その出来を確認した。活動は来年から本格化させ、希少性の高い有機による夏ニンジンの生産体制の確立と将来的な産地化を目指す。</p>
------	---

【地域】

記事	概要
(12)	<p>八戸花火大会 10月も見送り 年内開催へ調整継続</p> <p>第41回八戸花火大会の実行委員会は9月3日、10月17日を軸に同市の館鼻岸壁での開催を模索していた大会について、さらに延期することを決めた。新型コロナウイルスの感染状況や10月中旬は全国からイカ釣り漁船が集まる盛漁期に当たることなどに配慮した。ただ、水産事業者側は花火大会自体の開催には協力的な姿勢を示しており、年内開催に向けて関係機関との調整を継続する。大会は当初、8月22日に実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大や八戸港沖での重油流出事故を受けて延期していた。</p>
(13)	<p>小惑星「Robohachi」 八戸市児童科学館 マスコットにちなみ命名</p> <p>地球から約3.86億キロも離れた、火星と木星の間に位置する小惑星の一つが今年7月、「Robohachi」として国際天文学連合（IAU）に登録、認定された。名前の由来は、八戸市児童科学館に設置され、施設のマスコットとして親しまれているロボット「ロボハチ」。小惑星は2001年5月、NPO法人日本スペースガード協会（東京）が発見し、2018年1月に八戸市内でイベントを開催した際、会場を借り受けた同館に命名を依頼。同館が「Robohachi」を同協会に提案し採用された。「Robohachi」は太陽の周りを約3.73年で公転。9月現在はオリオン座やふたご座の方向に位置し、明るさは最も明るくなる今年12月20日ごろでも約19等星と暗いが、口径30センチ以上の望遠鏡に天体専用のカメラを取り付け、数日撮影すれば捉えられる可能性があるという。</p>
(14)	<p>青森労災病院 がんリハビリ早期支援</p> <p>昨年11月にがん診療センターを開設するなど、がん患者の包括的なサポートに力を入れる八戸市の青森労災病院は本年度、体制強化の一環として「がんリハビリテーション」の仕組みを新たに構築した。理学療法士や作業療法士、公認心理師など院内の専門職が連携し、診断直後から治療と並行して体の機能維持や精神面のケアに取り組むなど、患者に対して心身両面で支援に当たるのが特長。早期からの切れ目のない支援によって、退院後のスムーズな社会復帰につながる。現在は入院患者のみに対応しているが、いずれは通院に切り替わった患者も継続的に支援したい考え。</p>
(15)	<p>八戸ウインドアンサンブル 東北大会で金賞 結成40年超 悲願の全国大会へ</p> <p>八戸市の社会人吹奏楽団「八戸ウインドアンサンブル」が、結成以来初となる全国大会出場を決めた。同楽団は、7月に行われた八戸地区大会と県大会でいずれも金賞を受賞し、東北大会の出場権を得た。その後、9月5日に録画審査で行われた全日本吹奏楽コンクール第64回東北大会（東北吹奏楽連盟など主催）の職場・一般の部で金賞を受賞。青森県内の一般団体として初の全国大会出場を決めた。全国大会は10月31日に高松市で開催される。</p>

(16)	<p>短歌甲子園 八戸西高初の日本一 八戸高3連覇ならず</p> <p>高校生が短歌の腕前を競う、第16回全国高校生短歌大会「短歌甲子園2021」（実行委員会主催）が9月23日、オンラインで開かれた。団体戦決勝は前回に続いて青森県立八戸西高と八戸高の県勢対決となり、前回準優勝の八戸西が初の日本一に輝いた。八戸は大会初の3連覇を逃した。個人戦では最優秀作品賞に次ぐ優秀作品賞に、八戸西の嶋森藍那さん（2年）の作品が選ばれた。短歌甲子園は例年、盛岡市で行われているが、新型コロナウイルス感染対策として、昨年は書面、今年はオンラインで開催。全国25校33チームが応募し、八戸西と八戸はシード校として、準々決勝から参加した。</p>
(17)	<p>八戸・陸奥湊駅前 再整備構想本格始動</p> <p>八戸市湊町にあるJR陸奥湊駅前の再整備構想で、事業主体となるまちづくり会社「みちのくみなと未来」が設立された。構想では、現在リニューアル工事が進む市営魚菜小売市場に隣接する四つの民間市場と旧青い森信用金庫むつ湊支店を大規模改修し、魚介類を中心に扱う商業スペースや飲食ブース、青森県南、岩手県北両地方の物産などを取り扱うショップの入居を想定している。全体の事業完了は最短で2025年度を目指すとしており、事業主体となるまちづくり会社が設立されたことで、構想が本格的に動き出す。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<p>東京パラリンピック・ゴールボール銅メダル 天摩選手（八戸出身）に県民栄誉賞</p> <p>青森県は9月10日、東京パラリンピックのゴールボール競技に女子日本代表の主将として出場し、銅メダルを獲得した八戸市出身の天摩由貴選手（マイテック）に県民栄誉賞を授与すると発表した。パラリンピック出場選手への同賞授与は初めて。3度目のパラリンピック出場となった天摩選手は、大会期間中に負ったけがの影響で出場機会は多くなかったが、日本代表主将としての矜持を胸に最後まで仲間を鼓舞し続けた。県教委も同日、天摩選手に県スポーツ栄誉賞を授与すると発表。県スポーツ協会は、県特別栄誉賞を授与すると明らかにした。</p>
(19)	<p>YSアリーナ八戸 夏季合宿 利用者倍増</p> <p>八戸市長根屋内スケート場「YSアリーナ八戸」の夏季合宿の利用者数が、昨季の延べ2526人の2倍以上の5806人となる見通しだ。夏真っ盛りの7月下旬から営業している国内の室内リンクは同アリーナと北海道帯広市の十勝オーバルの2カ所のみ。市は合宿を誘致するため、企業や大学、各都道府県の競技団体向けに施設のパンフレットなどを送付したほか、合宿者優先時間を設定するなど工夫を凝らしてきた。競技関係者からは、施設が市の中心部に立地していることやリンクの製氷技術への評価が高い。合宿利用の増加で、市中心街への経済効果も期待される。</p>
(20)	<p>ヴァンラーレ八戸にJ2ライセンス 2位以内で昇格可能性</p> <p>Jリーグは9月29日、J3のヴァンラーレ八戸に来季のJ2ライセンスを条件付きで交付した。ヴァンラーレが取得するのは初めて。ヴァンラーレがホームとする八戸市のプライフーズスタジアムは、現時点でJ2ライセンス取得に必要な入場可能数1万人以上、観客席を屋根で覆うなどの施設基準を満たしていないが、今年3月に照明設備が完成し、ナイター試合を行えるようになったことで、ほかの施設整備を猶予する「例外適用規定」に該当。クラブは同規定を活用し、6月末にライセンスを申請していた。ヴァンラーレは、「観客席の3分の1以上を屋根で覆う」とする施設基準を満たすための計画が構想を提出した上で、今季のJ3で2位以内という成績要件を満たせば来季の昇格が可能となる。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



送付先

八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主幹] 川村 幸男 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。